

令和7年度 第一学年 社会科年間指導計画

分野	単元	章	時数	主な学習活動 他教科との関連
地理	第一部 世界と日本の地域構成	第一章 世界の姿	6	・私たちの住む地球を眺めて ・緯度と経度 ・地球儀と世界地図の違い ・世界のいろいろな国々の特徴 ・世界の国々や都市の位置を表す方法
		第二章 日本の姿	6	・世界のなかでの日本の位置 ・日本の領域とその特徴 ・日本と世界各地との時差 ・都道府県と都道府県庁所在地
		第一章・第二章のまとめ	1	学習内容の整理
	第二部 世界のさまざまな地域	第一章 人々の生活と環境	9	・世界のさまざまな生活と環境 ・乾燥した地域の暮らし～アラビア半島での生活～ ・寒い地域の暮らし～シベリアでの生活～ ・人々の生活と宗教の関わり ・暑い地域の暮らし～インドネシアでの生活～ ・温暖な地域の暮らし～スペインでの生活～ ・高地の暮らし～アンデス山脈での生活～
			1	第一章のまとめ
		第二章 世界の諸地域 アジア州	8	・アジア州の自然環境 ・経済成長を急速に遂げた中国 ・経済発展を目指す東南アジア ・資源が豊富な中央アジア・西アジア ・アジア州の農業・文化と経済の発展 ・最近の隣国 韓国 ・産業発展と人口増加が急速に進む南アジア
			1	アジア州のまとめ
		第二章 世界の諸地域 ヨーロッパ州	5	・ヨーロッパ州の自然環境 ・EU の成り立ちと人々の生活の変化 ・EU 統合による課題への取組 ・ヨーロッパ文化の共通性と多様性 ・EU とヨーロッパの農業・工業への影響
			1	ヨーロッパ州のまとめ
		第二章 世界の諸地域 アフリカ州	3	・アフリカ州の自然環境 ・アフリカが抱える課題とその取り組み ・アフリカ地域の産業
			1	アフリカ州のまとめ
		第二章 世界の諸地域 北アメリカ州	4	・北アメリカ州の自然環境 ・大規模な農業と多様な農産物 ・アメリカ合衆国に見る生産と消費の問題 ・移民の歴史と多様な民俗文化 ・世界をリードする先端技術
			1	北アメリカ州のまとめ
		第二章 世界の諸地域 南アメリカ州	3	・南アメリカの自然環境 ・大規模化する農業と成長する工業 ・ブラジルに見る開発と環境保全 ・多様な民俗や文化が混ざり合う社会
		第二章 世界の諸地域 オセアニア州	2	・オセアニア州の自然環境 ・他地域と結びついて発展する産業 ・ブラジルに見る開発と環境保全 ・移民の歴史と多文化社会への歩み
		第二章 世界の諸地域のまとめ	1	各所地域の多様性や人権課題について
	第三部 地域調査のしかた	第一章 地域調査のしかた	1	地図を読み取るために必要な技能の習得
			2	世田谷区の地図の読み取り
			1	地域調査のしかた まとめ
歴史	第一章 歴史へのとびら	1節 歴史をとらえる見方・考え方 2節 身近な地域の歴史	5	・歴史の流れ ・歴史の流れのとらえ方 ・時期や年代の表し方 ・身近な地域の歴史
	第二章 古代までの日本	1節 世界の古代文明と宗教のおこり	6	・人類の出現と進化 ・中国文明の発展 ・宗教のおこりと三大宗教 ・古代文明のおこりと発展 ・ギリシャ・ローマの文明
		2節 日本の列島の誕生と大陸との交流	4	・旧石器時代と縄文時代の暮らし ・大王の時代 ・弥生時代の暮らしと邪馬台国
		3節 古代国家の歩みと東アジア世界	10	・聖徳太子の政治改革 ・律令国家の成立と平安京 ・天平文化 ・摂関政治の時代 ・東アジアの繁栄と律令国家への歩み ・奈良時代の人々の暮らし ・平安京と律令国家の変化 ・国風文化
	第三章 中世の日本	1節 武士の政権と成立	7	・武士の成長 ・鎌倉幕府の成立と執権政治 ・鎌倉幕府の文化と宗教 ・院政から武士の政権へ ・武士と民衆の生活
		2節 ユーラシアの動きと武士の政治の展開	11	・中世のユーラシア大陸 ・モンゴルの襲来 ・東アジアとの交流 ・応仁の乱と戦国大名 ・モンゴル帝国とユーラシア世界 ・南北朝の動乱と室町幕府 ・産業の発展と民衆の生活 ・室町文化とその広がり
	第四章 近世の日本	ヨーロッパ人との出会いと全国統一	5	・ヨーロッパ世界の変化 ・ヨーロッパ人との出会い ・ヨーロッパ世界の拡大

令和 7 年度 第二学年 社会科年間指導計画

分野	単元	章	時数	主な学習活動 他教科との関連
地理	第三篇 日本のさまざまな地域	第一章 地域調査の手法	2	・ 私たちの世田谷 ・ 地形図の読み取り
		第四章 地域の在り方	1	・ 持続可能な地域づくりを考えよう
		第一章のまとめ	1	・ 学習内容の整理
		第二章 日本の地域的特色と地域区分	11	・ 地形から見た日本の特色 ・ 自然災害と防災・減災への取組 ・ 資源・エネルギーから見た日本の特色 ・ 交通・通信から見た日本の特色 ・ 気候から見た日本の特色 ・ 人口から見た日本の特色 ・ 産業から見た日本の特色 ・ 日本の地域区分しよう
		第二章のまとめ	1	日本の地域特色を伝えよう
		第三章 日本の諸地域 沖縄・九州地方	6	・ 九州地方を眺めて ・ 自然の制約の克服と利用 ・ 自然環境に適応する人々の工夫 ・ 持続可能な社会をつくる
		第三章 日本の諸地域 中国・四国地方	5	・ 中国・四国地方を眺めて ・ 交通網が支える産業とその変化 ・ 交通網の整備と人や物の移動の変化 ・ 活用される交通・通信網
		第三章 日本の諸地域 近畿地方	5	・ 近畿地方を眺めて ・ ニュータウンの建設と都市の開発 ・ 大都市圏の形成と都市の産業 ・ 変化する農村の暮らし
		第三章 日本の諸地域 中部地方	5	・ 中部地方を眺めて ・ 特色のある中央高地の産業 ・ 特色ある東海の産業 ・ 特色ある北陸の産業
		第三章 日本の諸地域 関東地方	5	・ 関東地方を眺めて ・ 東京を生活圏とする人々の暮らしと交通 ・ 世界と結びつく東京 ・ 関東地方の多様な産業
		第三章 日本の諸地域 東北地方	3	・ 東北地方を眺めて ・ 伝統工芸品の生産・販売とその変化 ・ 祭りや年中行事の伝統とその変化 ・ 過去の伝承と未来に向けた社会づくり
		第三章 日本の諸地域 北海道	4	・ 北海道地方を眺めて ・ 自然の制約や社会の変化をのりこえる ・ 自然の制約に適応する人々の工夫 ・ 自然の特色を生かした産業
		第三章 まとめ	4	・ 各地方の特色をまとめよう
歴史	第四章 近世の日本	1 節 ヨーロッパ人との出会いと全国統一	6	・ 中世ヨーロッパとイスラム世界 ・ ヨーロッパ世界の拡大 ・ 織田信長・豊臣秀吉による統一事業 ・ 桃山文化 ・ ルネサンスと宗教改革 ・ ヨーロッパ人との出会い ・ 兵農分離と秀吉の対外政策
		2 節 江戸幕府の成立と対外政策	7	・ 江戸幕府の成立と支配の仕組み ・ 貿易の信仰から鎖国へ ・ 琉球王国やアイヌ民族との関係 ・ さまざまな身分と暮らし ・ 鎖国下の対外関係
		3 節 産業の発達と幕府政治の動き	9	・ 農業や諸産業の発展 ・ 幕府政治の安定と元禄文化 ・ 田沼意次の政治と寛政の改革 ・ 外国船の出現と天保の改革 ・ 都市の繁栄と交通路の整備 ・ 享保の改革と社会の変化 ・ 新しい学問と化政文化 ・ 近世の日本のまとめ
	第五章 開国と近代日本の歩み	1 節 欧米における近代化の進展	7	・ イギリスとアメリカの革命 ・ ヨーロッパにおける国民意識の高まり ・ 産業革命と資本主義 ・ フランス革命 ・ ロシアの拡大とアメリカの発展
		2 節 欧米の進出と日本の開国	7	・ 欧米のアジア侵略 ・ 開国後の政治と経済 ・ 開国と不平等条約 ・ 江戸幕府の滅亡
		3 節 明治維新	11	・ 新政府の成立 ・ 富国強兵と文明開化 ・ 国境と領土の確定 ・ 自由民権運動の高まり ・ 明治維新の三大改革 ・ 近代的な国際関係 ・ 領土をめぐる問題の背景、流用、歴史的経緯 ・ 立憲制国家の成立
		4 節 日清・日露戦争と近代産業	5	・ 欧米列強の侵略と条約改正 ・ 韓国と中国 ・ 日清・日露戦争

令和7年度 第三学年 社会科年間指導計画

分野	単元	章	時数	主な学習活動 他教科との関連		
	第五章 開国と近代日本の歩み	第3節 明治維新	11	・新政府の成立 ・近代的な国際関係 ・自由民権運動の高まり	・明治維新の三大改革 ・国境と領土の確定 ・立憲制国家の成立	・富国強兵と文明開化 ・領土をめぐる問題の背景、流用、歴史的経緯
		第4節 日清・日露戦争と近代産業	8	・欧米列強の侵略と条約改正 ・産業革命の進展	・日清・日露戦争 ・近代文化の形成	・韓国と中国
	第六章 二度の世界大戦と日本	第1節 第一次世界大戦と日本	5	・第一次世界大戦 ・アジアの民族運動	・ロシア革命	・国際協調の高まり
		第2節 大正デモクラシーの時代	4	・大正デモクラシーと政党内閣の成立 ・新しい文化と生活		・広がる社会運動と男子普通選挙の実現
		第3節 世界恐慌と日本の中国侵略	6	・世界恐慌とブロック経済 ・満州事変と軍部の台頭	・欧米の情勢とファシズム ・日中戦争と戦時体制	・昭和恐慌と政党内閣の危機
		第4節 第二次世界大戦と日本	7	・第二次世界大戦の始まり ・戦争の終結	・太平洋戦争の開始	・戦時下の人々
	第七章 現代の日本と私たち	第1節 戦後の日本の出発	3	・占領下の日本	・民主化と日本国憲法	
		第2節 冷戦と日本の発展	5	・冷戦の開始と植民地の解放 ・日本の高度経済成長	・独立の回復と55年体制 ・マスメディアと現代の文化	・緊張緩和と日本外交
		第3節 新たな時代の日本と世界	6	・冷戦後の国際社会	・冷戦後の日本	・持続可能な社会に向けて
	公民	第一章 現代社会と私たち	1節 現代社会の特色と私たち	4	・持続可能な社会に向けて ・情報化	・少子高齢化
			2節 私たちの生活と文化	4	・私たちの生活と文化の役割 ・多文化居生を目指して	・伝統文化と新たな文化の創造
			3節 現代社会の見方や考え方	5	・社会集団の中で生きる私たち ・効率と公正	・決まりを作る目的と方法 ・第1章のまとめ
		第二章 個人の尊重と日本国憲法	1節 人権と日本国憲法	5	・人権の歴史と憲法 ・平和主義の意義と日本の役割	・日本国憲法とは ・基本的人権と個人の役割 ・国民主権と私たちの責任
			2節 人権と共生社会	5	・平等権 ・人権を確実に保障するための権利	・自由権 ・社会権 ・「公共の福祉」と国民の義務
			3節 これからの人権保障	5	・新しい人権	・グローバル社会と人権 ・第2章のまとめ
		第三章 現代の民主政治と社会	1節 現代の民主政治	8	・政治と民主主義 ・マスメディアと世論	・選挙の意義と仕組み ・選挙の課題と私たちの政治 ・政党の役割
			2節 国の政治の仕組み	8	・国会の地位と仕組み ・裁判所の仕組みと働き	・国会の仕事 ・三権の抑制と均衡 ・行政と内閣、
			3節 地方自治と私たち	8	・地方自治の考え方と役割 ・住民参加の拡大と私たち	・地方自治の仕組み ・第3章のまとめ ・地方公共団体の課題
		第4章 私たちの暮らしと経済	1節 消費生活と市場経済	5	・私たちの消費生活 ・契約のあれこれ	・契約と消費生活 ・消費生活を支える流通 ・消費者の権利を守るために
			2節 生産と労働	4	・生産種別と企業 ・労働の意義と労働者の権利	・企業の種類 ・労働環境の変化と課題 ・株式会社の仕組み
			3節 市場経済の仕組みと金融	5	・市場経済と価格の決め方 ・私たちの生活と金融機関	・価格の働き ・景気と金融政策 ・貨幣の役割と金融 ・グローバル経済と金融
			4節 財政と国民の福祉	5	・私たちの生活と財政 ・少子高齢化と財政	・財政の役割と課題 ・社会保険の仕組み
			5節 これからの経済と社会	5	・公害の防止と循環型社会の形成へ	・経済の持続可能性と真の豊かさ ・第4章のまとめ
		第5章 地域社会と私たち	1節 国際社会の仕組み	4	・国際社会における国家 ・国際的な経済格差	・領土をめぐる問題の現状 ・新興国の台頭と経済格差 ・国際連合の仕組みと役割
			2節 さまざまな国際問題	3	・貧困問題 ・気候変動と資源・エネルギー問題	・難民問題 ・平和な世界に向けて ・地球規模問題
			3節 これからの地球社会と日本	2	・世界と協力する日本	・よりよい地球社会を目指して